

ご提出いただいたご意見お伺いシート一覧

| 意見等 | 事務局回答 |
|---|---|
| <p>審議会スケジュールについて：</p> <p>基本構想は、これまでの構想を踏襲する部分と、新たな時代に向けて踏み出す部分のどちらも必要になるかと思います。</p> <p>短期間での策定作業となるため、新たに踏み出す部分が多いほど、序内調整もご苦労が多くなると思いますが、新たに必要となる施策が積極的に俎上に上がるよう、調整を図っていただければと存じます。</p> | <p>社会情勢の変化や新たな課題に的確に対応するため、既存の枠組みにとらわれず、新たに必要となる施策を積極的に検討していくことが大切であると考えます。事務局として担当部署と積極的に調整を図ります。</p> |
| <p>策定方針について：</p> <p>(2) 計画期間 〈前略〉実施計画は、令和9年度から令和11年度の3年間を計画期間とし、毎年度ローリング方式で計画の見直しを行います。 ↓ 左図のやり方のことだと思われますが、上記説明では伝わらないのでは…。 (例えば) 〈前略〉事業の進捗管理を行うため、実施計画（期間3年）を策定します。実施計画は令和9年度を初年度とし、本市を取り巻く社会情勢等を踏まえ毎年度見直していきます。</p> | <p>基本構想、基本計画、実施計画の構成について、それぞれの目的が市民にとって分かりやすく、親しみやすい計画となるよう記載方法の検討を行います。</p> |
|  | |
| <p>長期総合計画全般について：</p> <p>①現行計画を読みました。その感想から申し上げると、凄く詳細に作られた立派な計画書だと思います。ただ、長期総合計画は、「現状のままの推移だと達成できないが、みんなが頑張れば達成できる」という夢と希望（目標）を市民が共有するためのモノと考えます。その視点に立てば、詳細すぎるのではないかと思います。</p> | <p>第3次紀の川市長期総合計画は、基本計画部分では、基本構想に基づき、まちづくりの目標ごとに現状と課題を明らかにした上で、各施策の取組方針及び成果指標を示すとともに、各施策・事業の具体的な取組の方向性を定める必要があるため、詳細な記載となる箇所もありますが、市民にとって分かりやすく、親しみやすい計画となるよう検討を行います。</p> |
| <p>このことを踏まえて、次期計画では…</p> <p>②具体例として、KPI(成果指標)が合計154個設定されていて全て計画書に記載されていますが、果たして記載する必要があるのか若干疑問です。</p> <p>特に行政の努力だけでは、いかんともしがたい指標は再検討した方が良いのではと思います。</p> <p>KPIについては、モノによっては、本文中に「……〇〇%を目指します」記載すれば良いと思われるモノもあります。</p> <p>逆に、KPIを重視するのであれば、現行計画期間で達成できなかつた原因の分析が必要と思います。</p> | <p>ご指摘の通り、指標の中には、行政の取組だけで指標の向上が難しいものもありますが、これらは、行政が単独で達成するものというよりも、市民や地域、関係団体などと共にし、協働して取り組むことで成果を高めていくことを目的として設定しているものもあります。</p> <p>そのうえで、指標の妥当性や実効性については今後の計画策定の中で改めて検討を行い、必要に応じて見直しを図ってまいります。</p> |
| <p>長期総合計画全般について：</p> <p>④現行の長計では、将来像をイメージした左側の図があり、基本計画では分野別の右の図が掲載されていますが、これらの関係性が分かりにくいです。左側の図の左側「まちづくりの目標」が右側の施策体系図に対応していますが、それを明確化するため、5分野を「安全・安心」などタイトルだけで良いのではと考えます。（下図案）</p> |  <p>ご指摘いただきました図は、長期総合計画における基本構想における「将来像」および「まちづくりの目標」（縦軸）と、別に重点的・優先的な取組を定めた「重点プロジェクト」（横軸）との関係性を示したものになります。</p> <p>重点プロジェクト（横軸）は、総合計画における体系であるまちづくりの目標（縦軸）を横断する取組もあるため、このような表し方となっています。</p> <p>総合計画における基本構想とその他の取組との関係性の示し方については、今後の計画策定の中で改めて検討を行い、必要に応じて見直しを図ってまいります。</p> |
| <p>長期総合計画全般について：</p> <p>⑤現行計画の26・27頁の「人口6万人…」こそが長計のキモで、ここを充実させることが何より重要と考えます。可能な範囲で取り組む事業を実施計画に記載（重点プロジェクトとの重複を明示）すべきだと思います。</p> | <p>第2次紀の川市長期総合計画では、令和8（2026）年の目標人口を6万人と設定し、その実現に向け取組を進めてまいりました。一方で少子化に伴う人口減少の流れが、和歌山県内においても一層強まる中で、第3次紀の川市長期総合計画では、この現実を直視し、真正面から受け止め、減少を前提にしても、市民一人ひとりがほっこりや生きがいを持ち、次の世代に健全な形で引き継ぐための持続可能なまちの検討を進めております。これまでの目標の意義を踏まえながら、暮らしの質や地域の活力をどう維持・向上していくかをみなさまと議論してまいります。</p> |
| <p>長期総合計画全般について：</p> <p>⑥蛇足ですが、SDGsを意識する必要があるのか疑問です。現行計画を作った頃はSDGsは“流行”していましたが、基礎自治体では環境／開発分野以外で意識するのは余り意味がないと考えます。</p> | <p>SDGsの記載については、再度検討を行います。</p> |